

# 平成29年度 なす防除暦

作成:JAいわて花巻

時期	発生活長・薬剤効果							薬剤散布例 ※殺虫剤の系統 有:有機りん系 ピ:ピレスロイド カ:カーバメート ネ:ネオニコチノイド その他:その他系統 殺ダニ:殺ダニ剤	倍率 (倍)	農薬量 100%当り。 水和剤・水 溶剤は「g」 、乳剤・フロ アブルは「ml」	備考 (ハウスでくん煙剤を使用する場合は、 左記農薬との代替で使用する)	
	重点防除時期											
	ア ブ ラ ム シ 類	ミ カ ン キ ウ マ ア ザ ミ ウ マ	ハ ダ ニ 類	灰 色 か び 病	菌 核 病	う ど ん こ 病	す す か び 病					
定植時	◎							ネ ネ	アドマイヤー1粒剤 又はアクタラ粒剤5	—	1g/株	
定植30日後	○	(△)	○					ピ	テルスターフロアブル	4000	25	
6月上旬	◎	(○)		○	(△)	○	○	ネ	ダコニール1000 スタークル顆粒水溶剤	1000 3000	100 33	※5月下旬定植の露地については <b>6月中旬より防除を開始する</b>
6月中旬	○	○	○					その他	モベントフロアブル	2000	50	
6月下旬				○	○	◎	◎		アフエットフロアブル	2000	50	
7月上旬	◎	(△)	○	(○)		◎		ピ	ジーファイン水和剤 テルスターフロアブル	2000 4000	50 25	【またはくん煙剤】マブリックジェット(50g/400m <sup>3</sup> )
7月中旬			◎	○	(○)	○	○	殺ダニ	ベルコート水和剤 ニツソラン水和剤	3000 2000	33 50	
7月下旬	◎	(○)		(○)	(○)	○	○	ネ	モスピラン顆粒水溶剤 ストロビーフロアブル	4000 3000	25 33	【またはくん煙剤】モスピランジェット(50g/400m <sup>3</sup> )
8月上旬	○	○	○						モベントフロアブル	2000	50	
8月中旬		◎	◎	(○)		◎		その他	ジーファイン水和剤 コテツフロアブル	2000 2000	50 50	ハダニ類多発の場合、コロマイト乳剤(1500倍) 又はダニサラバフロアブル(1000倍)に変更する
8月下旬	◎	(○)						ネ	モスピラン顆粒水溶剤	4000	25	【またはくん煙剤】モスピランジェット(50g/400m <sup>3</sup> )
9月上旬	○	(△)	○	○	(○)	○	○	ピ	ベルコート水和剤 マブリック水和剤20	3000 4000	33 25	【またはくん煙剤】マブリックジェット(50g/400m <sup>3</sup> )
9月中旬				◎		○			フルピカフロアブル	2000	50	
9月下旬				◎	◎		○		ロブラール水和剤	1000	100	【またはくん煙剤】ロブラールくん煙剤(100g/400m <sup>3</sup> )

(この防除暦は平成29年5月8日現在の農薬登録情報に基づき作成)

### ●ハダニ類の防除について

本防除暦には、ハダニ類に効果のある殺虫剤を入れており、定期防除により発生・被害の低減が図られる。ただし、圃場をよく観察し発生が見られた場合は、直ちにダニ専用剤を散布する。

### ●ダニ専用剤のハダニ類の各発育ステージに対する効果

農薬名	発育ステージ		
	卵	幼虫	成虫
ニツソラン水和剤	◎	◎	×
ダニサラバフロアブル	◎	◎	◎
スターマイトフロアブル	◎	◎	◎
コロマイト乳剤	◎	◎	◎
コテツフロアブル	◎	◎	◎
モベントフロアブル	×	◎	×

#### 留意事項

- 1)ニツソラン水和剤は殺成虫効果はないので、多発時には使用しない。
- 2)各系統の使用は年1回とする。
- 3)散布の際は葉の裏までまんべんなく散布すること
- 4)モベントフロアブルは多発時は使用しない。

☆展着剤:まくびか3000倍を  
加用すると汚れが軽減できます

☆薬剤防除と同時に、害虫の  
寄生・繁殖場所となる周辺  
雑草の整理を必ずおこなう  
こと。

### ●その他の病害虫防除について

- アザミウマ類 : 多発時はスピノエース顆粒水和剤で対応する
- ヨトウムシ・テントウムシダマシ類 : お盆過ぎ頃から発生が見られる。モスピラン水溶剤、マブリック水和剤20で同時防除が可能
- オンシツコナジラミ : ハウス内のみ発生。アブラムシ類に適用の薬剤で同時防除が可能
- 褐紋病、褐斑病 : 葉に褐色の斑点が出る病気。銅剤で防除
- ハモグリバエ類 : 発生が続く場合はディアナSCで対応する

\* 農薬の安全性評価法の見直しにより、今後農薬の使用方法が変更となる場合があるので、使用時は指導機関、農薬販売店、「いわてアグリベンチャーネット(<http://i-agri.net/agri/>)」等で最新情報を確認し、使用者が責任をもって、適正かつ安全に使用してください。

\* 農薬の飛散防止に努めましょう。